



生息地の広いタヌキ

なぜか憎めないユーモラスな哺乳類、タヌキ。「ため糞」をすること

でも知られています。奥山から郊外の住宅地周辺まで、その生息地は広

く、ねいの里でも観察することができ
ます。

春から夏にかけての子育てのシーズン
は、オスがメスに献身的に協力

優しい運転お願い

して、餌を運んだり、子どもをなめてあげるなど、な

かなかのイクメン振りを発揮するようです。

やがて、秋になると子どもは独り立ちして行きますが、この時期の子タヌキはまだ危険に対する認識が薄いため、よく交通事故にあいます。そのため、鳥獣保護センターで救護するタヌキも多くなりま

す。
夜、活動することの多いタヌキです。視界の悪い夜のドライブは、「人にも動物にも」優しい運転をお願いいたします。